

2021年9月16日

## 甲府市議会決算特別委員会の総括質問

こうふクラブ 山田 厚

### 1. コロナ感染期における甲府市の財政健全度はいかがか

甲府市は、中核市の業務も増え、しかもコロナ感染症災害ともなり様々な事務事業が激増しています。財政上の健全度はどうでしょうか？以下の財政傾向を簡潔にお伺いするとともに、総括的な見解を簡潔におききします。

- 主な財政指標である「財政力指数」「経常収支比率」「将来負担比率」「実質収支比率」の数年間と比べての総括をお聞かせ下さい。
- 各企業会計への「総務省基準に基づく操出金の対応」はどうでしょうか？お示しください。

### 2. コロナ感染症における市民生活の現状をうかがう

私たちは、全国及び甲府市の市民生活は、長期にわたるコロナ感染症によって極めて厳しい状態になっていると考えています。最近の生活及び消費経済や雇用はどうでしょうか？

そこで、2020年度以前との比較で判断できる傾向と、それに対する基本的な認識を簡潔にお教えてください。

- 甲府市民の所得の傾向は？ 収入における格差は広がっていませんか？
- 県内（市内の）経営の倒産・廃業・休業の状況と傾向は？
- 甲府市の雇用・失業における非正規雇用数やフリーランスの状態など把握されていますか？ わかる範囲でお答えください。

### 3. コロナ災害期こそ「自助・共助」ではなく市民を守る市の公的責任を

この間、日本社会は、国の指導で「自己責任」による「自助・共助」が強調されています。

しかし、少子高齢化が進み、若い家庭はゆとりの無い仕事づけです。高齢者は65歳過ぎても生活のために仕事をし続ける人も多くなり「自助」も難しくなっています。そしてどこの地域でも自治会の未加入者が多くなり「共助」の力も落ちています。

さらにコロナ感染症災害です。市民のいのちと暮らしを守るには、一つまり生存権を保障するには、「自助・共助」ではなく身近な自治体甲府市の公的な責任が問われてい

- コロナ感染症に対して、公衆衛生・医療（＝保健所・市立病院）としてどのような対応をされてきましたか？
- どのように生活困窮家庭への対応をされてきましたか？ 生活相談の状態や生活保護や、税や保険料などの負担における減額免除の対応はどうですか？
- 甲府市はこの間、高齢者福祉の後退が感じられますが、コロナ感染症災害期こそ高齢者のいのちを守る対応が必要ですが、いかがですか？

ここでは一般論・総論的に簡潔に伺います。

#### **4、コロナ感染症に立ち向かうためにも市職員のいのちと健康確保を**

市民が今までになく困難な事態な時こそ、市民への丁寧で良好な対応をつづけるためにも、正規非正規市職員さんの心身の健康は大切です。そこどうかがあります。

- 傷病休暇・病気休職が増え続けています。これは多忙化による職員の方々の心身が疲弊している傾向があると思われれます。その現状認識を伺います。
- 時間外勤務における36協定と33条の適用はどうですか？時間外数と医師面談者数について伺います。

結局、抜本的に人手を増やすしかありませんが、いかがお考えですか？